■(ウィリアム=)アダムス(三浦按針)　　徳川家康に外交顧問として仕えたイギリス人航海士・水先案内人・貿易家。
あだむす
川中島の戦終1564＝　　(受洗記録により)イングランドのケント州ジリンガムで，代々水夫のジョン=アダムスの子に生まれる。

織田信長入京1568＝ 4歳：

室町幕府滅亡1573＝ 9歳：

安土城築城・1576＝12歳：父が死去。水夫を継ぐのを辞めて，故郷を後にし，造船業でジリンガムと関係の深かったテムズ川北岸ライムハウスの船大工の棟梁で高く評価されていたニコラス=ディギンズに弟子入り，

本能寺の変・1582＝18歳：

この間，真摯に修業したらしく，青年時代の学校教育と無縁ながら，来日後，宣教師やスペイン人から，数学や天文学はじめ，その博識ぶりで一目置かれるようになるとともに，水夫の家系で，冒険心旺盛だったことから，造船術よりも航海術に興味を持つようになり，奉公の年限を終えると，

刀狩海賊取締1588＝24歳：スペイン艦隊対戦のためのイギリス船団の補給船に応募し，船長としてアルマダの海戦に参加。
・・・・・・1589＝25歳：メアリ・ハインと結婚。バーバリー商会ロンドン会社に就職し，モロッコ貿易に従事するが，
秀吉全国統一1590＝26歳：
士農工商公布1591＝27歳：
娘と息子を儲ける。パイロットの技量を発揮する機会がなかったため，
方広寺大仏殿1593＝29歳：この年からオランダが開始した北方航路開拓事業に参加，あちこちに航海に出てほとんど家に居つず，オランダ人船員たちと交流を深め，アジアへの関心を深めるとともに，外国語にも堪能になって行き，
関白秀次事件1595＝31歳：この年，ハウトマン率いるオランダ遠征隊がジャワ・バンタンに達して，インド航路を開拓，

豊臣秀吉没・1598＝34歳：_オランダの会社が西回りで派遣する東インド遠征隊に誘われ，弟トマスを連れて参加，5隻からなるマヒュー船隊の旗艦ホープ号の航海士となり，ロッテルダムを出航するも航海は厳しく，早くも司令官が死去，
前田利家没・1599＝35歳：_司令官が代わって，リーフデ号に弟ともに配置転換，その後も。脚気や壊血病，困難な食糧補給や現地人との戦は続き，苦難の末，マゼラン海峡を通過した頃には，船団500人の半数近くが死去しており，太平洋には出たものの，2隻がポルトガルとスペインに拿捕され，1隻がロッテルダムに引返し，チリを北上する間の現地人の襲撃で弟も殺害され，残ったリーフデ号とホープ号は，積み荷の毛織物が高価で売れそうだと，日本を目的とすることに決定し，かなりの速度で太平洋を横断したが，おそらく小笠原諸島付近で猛烈な嵐に遭い，ホープ号も消息を絶って，ついにリーフデ号のみが乗組員は24人という惨憺たる有様で，
関ヶ原の戦・1600＝36歳：*豊後国臼杵に漂着。乗組員は自力では上陸できず，臼杵城主の出した小舟でようやく日本の土を踏む。長崎奉行に通報されて拘束され，積まれていた大砲や火縄銃，弾薬などの武器も没収。長崎奉行が大坂城の豊臣秀頼に指示を仰ぐ間，イエズス会の宣教師達が訪れ，海賊船だとして，乗組員を即刻処刑するように要求している。結局，五大老首座の徳川家康の指示で，捕虜として，重体で身動きの取れない船長に代わり，ヤン＝ヨーステン(のち地名八重洲として名を遺す)らとともに大坂に連れてこられ，船も回航される。家康から尋問を受け，率直に路程や航海の目的や新教国とカトリック国との紛争など説明して逆に気に入られて，釈放され，解放された他の船員(まもなく6人が死亡して残り18人)とともに，上杉景勝征討のための武器を運びついでに，リーフデ号で江戸に回航される。この間，家康は，豊後で盗られたものを船員に返却すように命じるも散逸していたため，補償金を出して面倒を見ている。
朱印船制始・1601＝37歳：_関ヶ原の戦後処理が終って江戸に戻った家康に，帰国を願い出るも叶わず，米や俸給を与えられ，外交交渉に際して通訳や助言を求められ，幾何学や数学，航海術などの知識を幕閣に授けたと言われる。
東本願寺創建1602＝38歳：家康から支給された金をめぐって，リーフデ号元船長クワケルナックとともに，他の船員たち(4人死んでいたので12人)から反抗され，結局，各人個別に分配され，下船してそれぞれに住居や日本人妻が斡旋されることになるのに合わせて，_日本橋に居宅を与えられ，名主で御用商人の娘お雪と結婚，のち，一男一女を儲けるとともに，家康のブレーンのように扱われるようになり，
阿国歌舞伎始1603＝39歳：リーフデ号の修繕は認められず廃船になる一方，船大工としての経験を買われて，西洋式帆船を建造することを要請され，固辞したものの受け入れざるを得なくなり，
糸割符法始・1604＝40歳：_伊東に日本で初めての造船ドックを設けて最初のヨーロッパ式大洋航海用帆船(80t)を完成させる。これに，気をよくした家康に帰国を願い出て，却下されたばかりか，大型船の建造を指示される。
徳川家康隠居1605＝41歳：本国の妻宛に手紙。_自分の代わりにと，リーフデ号元船長クワケルナックの出国を申し出て許され，これを聞いた平戸藩主松浦鎮信が支援を申し出て，船員1人を連れてパタニに到着するが，まもなく戦死。
江戸城完成・1606＝42歳：_イギリス・オランダとの貿易を進言して，帰国を求めるも却下され，戦死の報が遅れ，パタニ商館への貿易許可状(クワケルナックへの朱印状)に添状，
家康駿府退隠1607＝43歳：*ついに，スペイン・ポルトガルとの貿易が禁じられ，イギリス・オランダに貿易が開かれる。120tの船舶も完成し，試験航行(浦賀～堺)。250石取りの旗本に取立てられ，三浦按針を名乗り帯刀を許された上，相模国逸見に領地も与えられ(イングランドの諸侯にも匹敵する待遇と感激している)，人々からも愛されるサムライとなるとろもに，商売にも足を踏み出し，試験航海を兼ねて地勢を確認しながら，地図を作製，
島津琉球支配1609＝45歳：オランダ船が平戸に来航し，牛窓でオランダ使節と遭遇。イギリス本国から来日したスタッフらに見下されながらも，平戸のイギリス商館開設に関わる。スペイン船が上総の御宿海岸で遭難，地元民に救助されたスペイン大使ドン・ロドリゴと会見，
琉球使始・・1610＝46歳：2年前に建造した120tの船が，家康からロドリゴに貸し出され，浦賀を出航，
山田長政渡航1611＝47歳：この年のジャワ・バンタン宛の手紙の中で，自身の来歴や家康との印象的な出会いについて記している。返礼使節ビスカイノが来航するも，誹謗されて抗議。駿河でオランダ使節を迎え平戸へ案内。
支倉常長渡欧1613＝49歳：_イギリス東インド会社宛の手紙に，完成させた日本地図を添付。平戸に，東インド会社のクローブ号が来航した際，司令官セーリスと家康との謁見を実現させるなどして，家康から帰国の許可が出，東インド会社と雇用契約し，イギリス商館の一員となり，シー・アドベンチャー号の船長として，
大坂冬の陣・1614＝50歳：_駿府で朱印状申請後，平戸からシャムに向かうも，水夫たちのストライキに遭い，琉球に滞留，
大坂夏の陣・1615＝51歳：_平戸に帰り，駿河でスペイン使節対応後，万全を期して，再び出航，イギリス商館最初の成功になるも，
徳川家康没・1616＝52歳：*シャムから平戸に戻ると，家康が死去しており，幕府は鎖国方針に転換，一気に不遇になり，
吉原遊郭始・1617＝53歳：_東インド会社総裁宛に手紙して契約を終了，自前の船で交趾支那との間を往復後，京坂で商用に従事，
・・・・・・1618＝54歳：_この年出現した巨大彗星について将軍秀忠から呼び出しを受けたように，役目は天文官のみとなり，幕臣や次期将軍の家光らに警戒されながら，
菱垣廻船始・1619＝55歳：再び交趾支那との間を往復した後，病臥，オランダ船から脱走したイギリス人を救援したのを最期に，
秀忠娘入内・1620＝56歳：平戸に戻り，日本人の親友を訪問，イギリス商館員立会いのもと詳細な遺書を作成し，_没した。

インターネットWikipedia，プロム著下宮忠雄訳「按針と家康」。森良和「三浦按針 その生涯と時代」で修正，